

COMET

SST-SCB

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも
見られるところに保管してください。



はじめに

このたびは、コメット SST-スタジオコントロールボックスをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。

本機は、複数のSST-600/900電源部を総合的に制御するためのコントロールボックスです。最大8台までの電源部を接続して、一括でコントロールすることができますので、よりスムーズなスタジオワークが行えます。

なお、ご使用になる前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、注意事項や使用方法を十分ご理解いただいたうえでご利用ください。

付属品

● リレーボックス				1台
● ヒューズ	SST-SCB	メイン	1A	1本
		フォーカスランプ	10A	1本
	SST-RB	リレーボックス	1A	1本
● ACコード	1.5m	9本	● シグナルコード	1.5m 8本
● IR-R用DCコード	2m	1本	● フォーカスコード	2m 2本
● アースコード	0.8m	2本	● シンクロジャンパーコード	2m 1本
● 取扱説明書			● 保証書	

目次

1. 安全のため特にご注意ください	1～4
2. 使用上のご注意とお願い	5
3. 各部の名称とはたらき	6～8
4. 接続系統図	8
5. 操作手順	9
6. モデリングランプモードスイッチ	10
7. サウンドモードスイッチ	10
8. IR・フォトセル切換スイッチ	10
9. 不発光警報	11
10. 充電異常警報	11
11. ヒューズ交換	12
12. 保証とアフターサービス	12
13. 仕様	13

1 安全のため特にご注意ください

■ご使用の前に、この説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。

■ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、この機器を使う人への危害、または物的損害を未然に防止するための注意です。

■注意事項は危害や損害の大きさと切迫の度合いを明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「危険」「警告」「注意」の3つに区分しています。

いずれも機器を安全にお使いいただくために重要な内容ですので、必ず守ってください。

危険：人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。

警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

絵表示の意味



△記号は、危険・警告・注意を促す内容であることを告げるものです。
図の中に具体的な禁止内容（左図は感電注意）を示しています。



⊘記号は、禁止行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図は分解禁止）を示しています。



●記号は、具体的な指示内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図はプラグをコンセントから抜いてください）を示しています。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

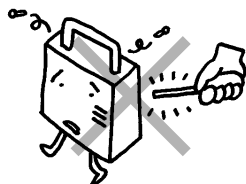


警告



- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないでください。

電源部は、メインスイッチを切りACコードをコンセントから抜いた後も、内部には長時間高電圧が残っており、感電の恐れがあります。
また、発光部も電源部へ接続した状態では高電圧がかかっており危険です。
十分注意をしてください。



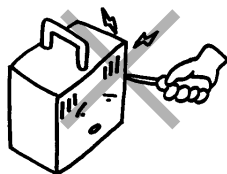
- 水に濡れる場所や湿度の高い場所での使用、また手足が濡れた状態や素足での操作はしないでください。
漏電による感電の恐れがあります。



- 電源部の出力コネクター金属部には、絶対に触れないでください。
電源部は、メインスイッチを切った後も高電圧が残っており、感電の恐れがあります。



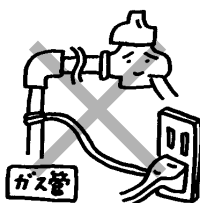
- 電源部やヘッドのスリット部には金属などの異物を絶対入れないでください。
感電、ショートによる発火の恐れがあります。



- 感電防止のため、必ずアース（接地）してください。

アース線を接続するときは、機器のメインスイッチを切り、ACコードをコンセントから抜いて行ってください。

アース線は絶対にガス管にはつながないでください。





- 使用中のヘッドに水滴などがかからないようにしてください。

使用中のヘッドはキセノン管、モデリングランプが高温になっています。水滴などがかかるとガラスが破裂する恐れがあり、大変危険です。取扱いには十分注意をしてください。



- ヘッドコードプラグは電源部の出力コネクターに確実に差し込んでください。また締め付けリングのあるタイプは差し込み後、リングを回転し締めつけてください。

プラグの接続が不確実な場合、スパークにより発火の恐れがあります。

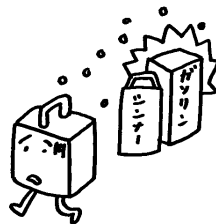


- ヘッドは発光時、高温の熱を発します。人体に向けて近い位置で発光させたり、可燃物に向けての使用は絶対にしないでください。火傷や火災の恐れがあります。



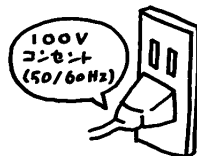
- 揮発性のガソリン、シンナー、可燃性ガスなどを使用している場所や、大量の粉塵が舞っている室内などでは絶対に使用しないでください。

爆発、火災、火傷の恐れがあります。



- 使用電圧はAC100V (50/60Hz) です。

異なる電圧で使用すると感電、発火、火災の原因となります。



- ACコードプラグやヘッドコードプラグを着脱する時は必ずSCBと電源部のメインスイッチ、モデリングランプスイッチ、フォーカスランプスイッチを切ってください。

急激に大電流が流れ、スパークによる火傷、発火の恐れがあります。

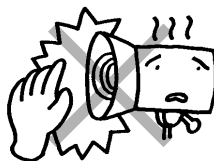


注 意



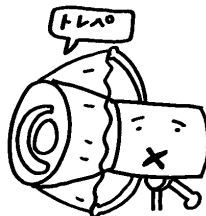
- 使用中や使用直後のヘッドは、かなりの高温になっています。十分温度が下がってから取り扱ってください。

火傷の恐れがあります。



- ヘッドは、紙や布または樹脂系のシートなど可燃物を近づけたり、覆っての使用はしないでください。

使用中はかなりの高温となり発火、火災の恐れがあります。



- ヒューズやモデリングランプは指定の定格品を使用してください。

定格品以外の使用は発火、火災の原因となります。



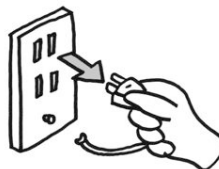
- 落としたり衝撃が加わったときは、直ちに使用を中止し、弊社、またはご購入店で点検を受けてください。

外観的な変形がなくても内部の電子部品などの損傷で、感電や漏電の恐れがあります。

コードの被覆損傷のときも同様に点検を受けてください。



- 使用後は安全のために必ずACコードをコンセントから抜き取ってください。

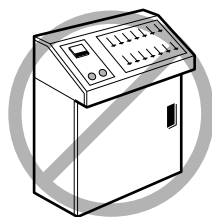


■調光器に接続しての使用はしないでください。本機および調光器を破損する恐れがあります。

■ストロボ電源部は使用しないときでも1カ月に1～2度は必ず出力をFULLにして通電をしてください。

特に3カ月以上の長期にわたって使用しなかったときは、出力をFULLにして最低4時間通電をしてください。この間は絶対に発光させないでください。

長期間使用にならなかったストロボ電源部は、そのまま発光をくり返すとコンデンサーが発熱して破損することがあります。

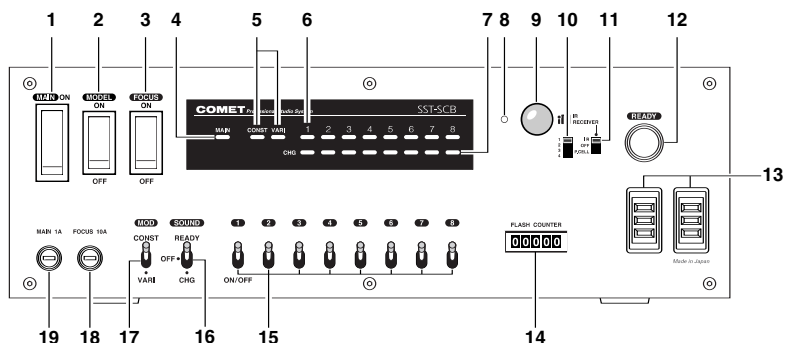


■赤外シンクロ装置(当社製)の受信器は、室内の蛍光灯から離れた場所にセットしてください。

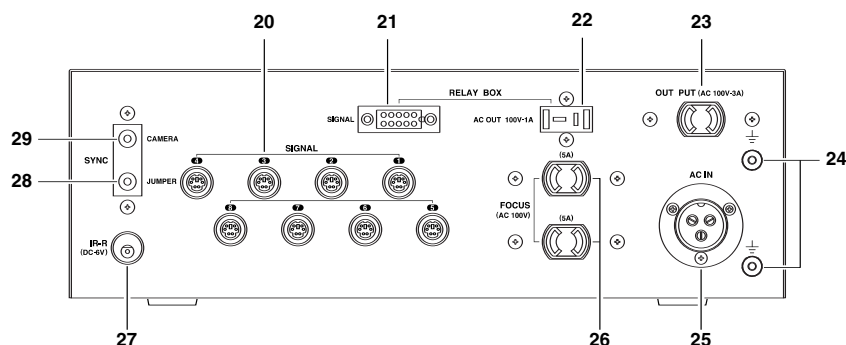
蛍光管から出る赤外線により、誤動作を起こすことがあります。

■複数台のストロボ電源部を赤外シンクロ装置(当社製)で使用するときは、それぞれのストロボ電源部に受信器をセットしてください。

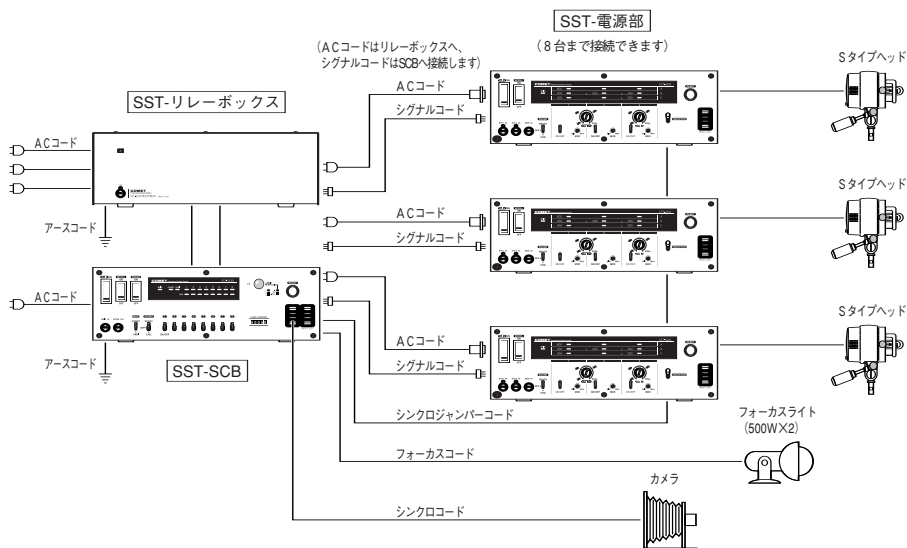
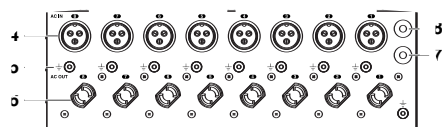
名称	はたらき	参照頁
1 メインスイッチ (MAIN)	AC電源スイッチです。	9
2 モデリングランプスイッチ (MODEL)	使用しているすべてのモデリングランプを一括で「ON」または「OFF」にします。	9
3 フォーカススイッチ (FOCUS)	フォーカスランプを「ON」または「OFF」にします。	9
4 メイン表示ランプ	メインスイッチが「ON」のとき、点灯します。	9
5 モデリングランプモード表示ランプ (CONST・VARI)	モデリングランプスイッチが「ON」のとき、モデリングランプモードを表示します。	10
6 電源部通電表示ランプ (①～⑧)	各電源部が「ON」のとき点灯します。	11
7 電源充電中表示ランプ (CHG)	各電源部が充電中に点灯し、充電が完了すると消えます。	
8 IR-T4a 受信確認ランプ	IR-T4aの信号を受信したとき点灯します。(約0.1秒間)	10
9 フォトセル受信部	IR-T4aや他のストロボ光を受けて同調発光させるための受光部です。	10
10 チャンネルスイッチ	IR-T4aを使用するとき4チャンネルの内から発信器と同じチャンネルにします。	10
11 IR/フォトセル 切換スイッチ	IR-T4aを使用するときは「IR」、他のストロボ光を受けて同調発光させたいときには「P. CELL」にします。	10
12 レディーランプ (READY) / テスト発光スイッチ	充電が完了すると点灯します。テスト発光をするときはランプ部を軽く押します。	9
13 シンクロソケット	CXタイプのシンクロコード (別売) でカメラと接続します。	9
14 フラッシュカウンター	発光回数を累積表示します。	



名称	はたらき	参照頁
15 各電源部スイッチ	各電源部を「ON」または「OFF」にします。	9
16 サウンドモードスイッチ	「充電完了 (READY)」 「充電中 (CHG)」 「OFF」を切り換えます。	10
17 モデリングランプモードスイッチ (MOD)	使用しているすべてのモデリングランプを「100%点灯 (CONST)」または「調光 (VARI)」に選択します。	10
18 フォーカスヒューズ	フォーカスランプ回路を保護します。ヒューズ定格をお守りください。	12
19 メインヒューズ (MAIN)	本機の回路を保護します。ヒューズ定格をお守りください。	12
20 シグナルコネクタ①～⑧ (SIGNAL)	シグナルコードで本機とSST電源部を接続します。	8
21 リレーボックス用コネクタA	専用コードで本機とリレーボックスを接続します。	8
22 リレーボックス用コネクタB	専用コードで本機とリレーボックスを接続します。	8
23 サービスコンセント	200W以下で使用してください。	
24 接地端子 (⏏)	感電を防止するため、必ず接地してください。	
25 ACコネクタ (AC IN)	ACコード3P (付属品) でSCBをコンセントに接続します。	8
26 フォーカスコンセント (FOCUS)	フォーカスランプを接続します。	8
27 DC6V出力端子 IR-R (DC6V)	IR-R 4a用電源出力端子です。付属のDCコードで接続します。 IR-R 4a以外の目的では使用しないでください。(外部用)	
28 シンクロジャンパー端子 (JUMPER)	電源部のシンクロを一括するためのコネクタです。 電源部に付属のシンクロジャンパーコードで接続します。	
29 カメラ用シンクロ端子 (CAMERA)	カメラやIR-Rを接続するとき、またシンクロコネクタを外部に取出すときに使用します。	



名称	はたらき
1 パイロットランプ	通電中に点灯します。
2 ヒューズ切れ表示ランプ	ヒューズが切れると点灯します。
3 リレーボックスヒューズ	リレーボックスの回路を保護します ヒューズ定格をお守りください。
4 ACコネクター①～⑧ (AC IN)	ACコード3 P (付属品) でリレーボックスとコンセントを接続します。
5 接地端子 (アース)	感電を防止するため、必ず接地してください。
6 コンセント①～⑧ (AC OUT)	SST電源部のACコードを接続します。
7 コネクターA	SST-SCBのリレーボックス用コネクターAに接続します。
8 コネクターB	SST-SCBのリレーボックス用コネクターBに接続します。



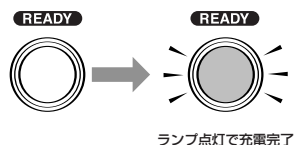
■ 1. 電源部のメインスイッチ (MAIN) をすべて「ON」にします

接続している SST-600/900 電源部のメインスイッチ (MAIN) をすべて「ON」にしてください。

■ 2. 充電の開始と完了

接続している SST-600/900 電源部が充電を開始し、すべての充電が完了すると SST-SCB 本体のレディランプ (READY) / テスト発光スイッチが点灯します。

サウンドは設定されているモードで鳴ります。



■ 3. テスト発光をします

レディランプ (READY) / テスト発光スイッチを軽く押して、接続したヘッドが正常に発光していることを確かめてください。

■ 4. カメラとのシンクロを確認します

シンクロコード (別売) でカメラと接続し、シンクロ発光テストをします。

● 本番撮影をされる前に実際のフィルム、もしくはインスタントフィルム等で、カメラのシンクロ (同調) テストをされることをお勧めします。

【ご注意】

- カメラ、またはレンズに M / X 接点があるときは、必ず X 接点を使用してください。
- フォーカルプレーンシャッターのカメラを使用のときは、シャッター速度を 1/60～1/30 で使用してください。
- カメラによっては、シンクロコードに極性のあるものがあります。このときはシンクロコードプラグを逆に差し込み、使用してください。

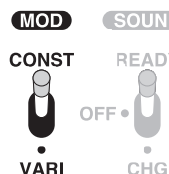
■ 5. 各電源の ON/OFF ができます

接続している SST-600/900 電源部のメインスイッチがすべて「ON」のときは、SST-SCB の各電源部スイッチで ON/OFF ができます。

SST-SCB の各電源部スイッチがすべて「OFF」のときは、警報が鳴ります。

モデリングランプモードスイッチは、使用する全てのモデリングランプのモードを選択します。

- **CONST** 出力バリエーターに関係なく、モデリングランプが常に100%の明るさで点灯します。
- **VARI** モデリングランプを調光で点灯します。



充電の状況をサウンドで知らせます。

■ **READY**

充電が完了したときにブザーが鳴り、レディランプが点灯します。

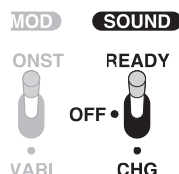
■ **CHG**

充電中に断続音のブザーが鳴り、充電が完了するとブザーが止まり、レディランプが点灯します。

■ **OFF**

充電状況を確認するためのブザー音を止めます。

- 警報はサウンドモードに関係なく鳴ります。



■ **I R**

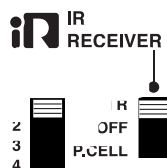
IR-T4aを使用するときにセットします。このときチャンネルスイッチ(1Ch~4Ch)をIR-T4aと同じチャンネルに合わせます。

■ **P.CELL**

他のストロボ光を受けて同調発光させるときにセットします。

【ご注意】

- フォトセル受光部周辺に直射日光など強い光が当たると作動しないことがあります。
- 同調発光させないときは「OFF」にしてご使用ください。



発光操作をしても、何らかの原因で発光しないとき、レディーランプ (READY) が点灯し、該当する通電表示ランプが点滅するとともに、ブザーが鳴り、不発光を知らせます。充電完了前に発光操作を行ったときは、発光せず該当する通電表示ランプが点滅します。

■警報の解除

不発光警報の解除は、充電完了後ふたたび発光操作をして正常に発光すると解除されます。また、メインスイッチ (MAIN) をいったん「OFF」にすることも解除されます。

● 警報はサウンドモードに関係なく鳴ります。

ストロボヒューズが断線していた場合や充電が所定の時間内に完了しなかったときは、警報で知らせます。

■待機中に異常が発生した時

充電中表示ランプ (黄) が点灯したまま、レディーランプ (READY) が消灯します。

■異常状態で発光操作をした時

充電中表示ランプ (黄) が点灯したまま、レディーランプ (READY) が消灯し、通電表示ランプ (緑) が点滅します。同時に、充電異常があったSST-600/900電源部の各灯表示ランプが点滅し、ブザーが鳴ります。

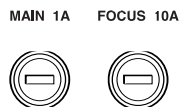
● 警報はサウンドモードに関係なく鳴ります。

【ご注意】

警報が出たときは、メインスイッチ (MAIN) をいったん「OFF」にし、ヒューズを点検してからメインスイッチ (MAIN) を「ON」にしてください。再び充電異常警報が発生するようときは、内部の故障が考えられますので速やかに使用を中止して、点検・修理を受けてください。

なお、点検・修理については「保証とアフターサービス」をお読みください。

ヒューズ交換はメインスイッチ (MAIN) を「OFF」にし、必ず AC プラグをコンセントから抜いて行ってください。該当するヒューズホルダーの蓋をドライバーで外し、断線したヒューズと同じ定格のヒューズと交換してください。



■保証書と保証期間

添付された保証書に「販売店名・ご購入日」など、所定事項の記載もれがないかをご確認のうえ大切に保存してください。なお、保証期間はご購入日から一年間です。

本製品に、純正部品・純正アクセサリ以外のものを使用することによって生じた故障・事故、および本取扱説明書で明記した注意・禁止された事項をお守りにらずに生じた故障・事故については一切の責任を負いかねます。

また、消耗品類は保証の対象となりません。詳しくは保証書の保証規定をご参照ください。

■保証期間終了後の修理

保証期間後でもご要望により有償で修理いたします。引き続き安心してご使用いただけます。

■アフターサービス

すべてのコメント製品は、厳重に調整・検査して出荷されていますが、万一故障になったときはご購入店または弊社営業所へご連絡ください。

■修理・点検へお出しになる際のご注意

修理・点検へお出しになる際は、ご使用中のシンクロコードをセットにしてご依頼ください。迅速なアフターサービスをさせていただきます。

保証期間中のものは必ず保証書を添付してください。保証期間後のものは保証書に記載されている製品名・型式・ご購入年月日をお知らせください。

また、修理へお出しになる前に AC プラグが抜けてないか、ヒューズ、ブレーカーが切れていないかをお調べください。

■修理・点検後のご注意

修理伝票は修理完了品に添付してあります。

修理内容が明記されておりますので、修理品をお受け取りになる際に確認してください。

また、修理伝票は次回の修理に必要となるときがありますので大切に保管してください。

品 名		SST-スタジオコントロールボックス
型 式	SST-SCB	
定 格 電 圧	AC 100V ±10% 50/60Hz	
ヒューズ定格	SCB	1A
	フォーカス	10A
電源部接続台数	リレー BOXを介して、SST電源部8台接続可能	
メインスイッチ	全電源部を一括ON/OFF	
各電源部スイッチ	各電源部をON/OFF	
モデリングランプスイッチ	全灯一括ON/OFF	
モデリングモードスイッチ	調光 (VARI) / コンスタント (CONST)	
サウンドモード	充電完了音 (READY) / 充電中音 (CHG) / OFF	
フォーカススイッチ	2回路一括ON/OFF (1回路500Wまで)	
テスト発光スイッチ	総合READYランプ兼用	
充電異常警報 (ヒューズ切れ等)	1. 待機中に異常発生	充電中ランプ点灯・総合READYランプ消灯
	2. 異常状態で発光操作	充電中ランプ点灯・総合READYランプ消灯 該当電源部の通電表示点滅とブザー連続音
不 発 光 警 報	該当電源部の通電表示点滅とブザー連続音 総合READYランプ点灯 (発光部異常) / 総合READYランプ消灯 (電源部異常)	
電源部異常警報	全ての各電源部スイッチがOFFのときブザー連続音	
リモートシンクロ	IR-T4aまたはストロボ光による同調発光	
シンクロソケット	3PBF×2	
発光カウンター	5桁表示	
寸 法	353(w) x 116(h) x 277(d) mm (ゴム足含む)	
重 量	4.2 kg	

品 名		SST-リレーボックス
型 式	SST-RB	
ヒューズ定格	1A	
リレー回路数	8 (ACコネクターIN・OUT8組)	
シグナルコネクター	2 (SCBからの信号受け)	
寸 法	351(w) x 115(h) x 277(d) mm (ゴム足含む)	
重 量	3.87 kg	

● 本仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
 なお、この仕様は2001年4月現在のものです。

●長年ご使用のストロボ機器の点検をぜひ！

愛情点検



こんな症状はありませんか

- スイッチを入れても所定の時間で充電しない
- 通電中に異音、異臭、あるいは発煙する
- ヒューズがすぐ切れる
- ストロボ電源部やヘッドに触るとビリビリと電気を感ずる
- その他の異常や故障があるとき

このような症状のときは直ちに使用を中止してACプラグをコンセントから抜いて、当社営業所または販売店にご相談ください。

- ストロボ電源部、ヘッドは内部に高電圧を蓄える機器です。誤った操作、または異常を無視して使用すると、使用する人々への危害、または物的損害を与えることが予測されます。

取扱説明書の操作方法に従い、「警告」「注意」などを守って安全にお使いください。

- 上記のような症状がなくても1年に1～2回は点検を受けられるようおすすめします。

アフターサービスについてのご相談は

COMET®

コメット株式会社

本社	〒102-0071	東京都千代田区富士見 1-4-6	TEL.(03)3264-8621	FAX.(03)3264-8624
札幌営業所	〒064-0805	札幌市中央区南5条西12丁目	TEL.(011)561-2488	FAX.(011)563-2620
仙台営業所	〒981-8003	仙台市泉区南光台 4-29-25 サンエイハイム101	TEL.(022)727-6521	FAX.(022)727-6523
東京営業所 営業課	〒135-0023	東京都江東区平野 2-16-20	TEL.(03)5245-3831	FAX.(03)5245-3835
東京営業所 コマーシャル課	〒135-0023	東京都江東区平野 2-16-20	TEL.(03)5245-3831	FAX.(03)5245-3835
東京営業所 デジタル部	〒135-0023	東京都江東区平野 2-16-20	TEL.(03)5245-3831	FAX.(03)5245-3835
名古屋営業所	〒461-0044	名古屋市中区東区矢田東 3-8	TEL.(052)719-0155	FAX.(052)712-3077
大阪営業所 営業課	〒550-0015	大阪市西区南堀江 2-9-22	TEL.(06)6536-0671	FAX.(06)6536-4020
大阪営業所 コマーシャル課	〒550-0015	大阪市西区南堀江 2-9-22	TEL.(06)6536-1667	FAX.(06)6536-4020
広島営業所	〒730-0831	広島市中区江波西 1-7-16 リラハイツ	TEL.(082)293-0075	FAX.(082)293-0076
高松営業所	〒761-8032	高松市鶴市町 10 35-7	TEL.(087)881-9344	FAX.(087)881-9342
福岡営業所	〒812-0042	福岡市博多区豊2-1-4	TEL.(092)411-1202	FAX.(092)411-1209
福岡営業所 コマーシャル課	〒812-0042	福岡市博多区豊2-1-4	TEL.(092)411-1254	FAX.(092)411-1209
一級建築士事務所	〒102-0071	東京都千代田区富士見 1-4-6	TEL.(03)3264-8623	FAX.(03)3264-9906
海外事業部	〒102-0071	東京都千代田区富士見 1-4-6	TEL.(03)3264-8692	FAX.(03)3264-6385
ストロボクリニック部 本部	〒102-0071	東京都千代田区富士見 1-4-6	TEL.(03)3234-5081	FAX.(03)3234-1356

URL <http://www.comet-net.co.jp>

E-mail mail@comet-net.co.jp